社会資本総合整備計画事後評価書

平成 ３０ 年 ９ 月 １３ 日

計画の名称	中井駅周辺整備計画		
計画の期間	平成27年度　～　平成29年度　（3年間）	交付対象	新宿区

計画の目標

西武新宿線中井駅周辺では、西武線の出口が南口１箇所であることに加え、駅南側と北側を結ぶ道路に設置されている踏切が通勤・通学時間帯には「開かずの踏切」となることから、南北が分断された状況となっている。また、駅前広場もなく駅周辺の歩行者の利便性が損なわれている状況である。
そこで、地下南北自由通路を新設して、南北間移動の利便性と安全性の向上を図るとともに、エレベーターの新設によるバリアフリー化も実施して交通結節点の機能向上を図る。さらに、道路（環状６号線）高架下の空間を駅前広場として整備し、南北自由通路との連携によって歩行者空間の充実を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

・朝ラッシュ時における踏切横断歩行者数の減少（1,337人（H21）を437人（H29）に減少）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H24当初）	中間目標値 —	最終目標値（H29）	備考
・中井駅前踏切（下落合７号踏切）の朝ピーク時（7:00～9:00）における横断歩行者数を調査する。	1,337人	—	437人	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	842百万円	A	842百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

事　後　評　価　（中　間　評　価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

平成29年7月に整備事業が完了したことから、評価指標の現況値の調査、確認等を実施。その結果を、学識経験者や地元住民等により構成される事業評価委員会における審議のうえ、区で決定する。

事後評価（中間評価）の実施時期

平成30年3月

公表の方法

区のホームページ

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
A-1	交通	一般	新宿区	直接	新宿区	—	—	中井駅地区都市交通システム整備事業	南北自由通路 L=約74m	新宿区	━	━				804	
A-2	交通	一般	新宿区	直接	新宿区	—	—	中井駅地区都市交通システム整備事業	駅前広場約2900㎡,駐輪場約250台	新宿区		━	━			38	
														小計		842	

A2

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積・水深等）	地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
													小計				
													合計			842	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	備考
（該当なし）																
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
（該当なし）																
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

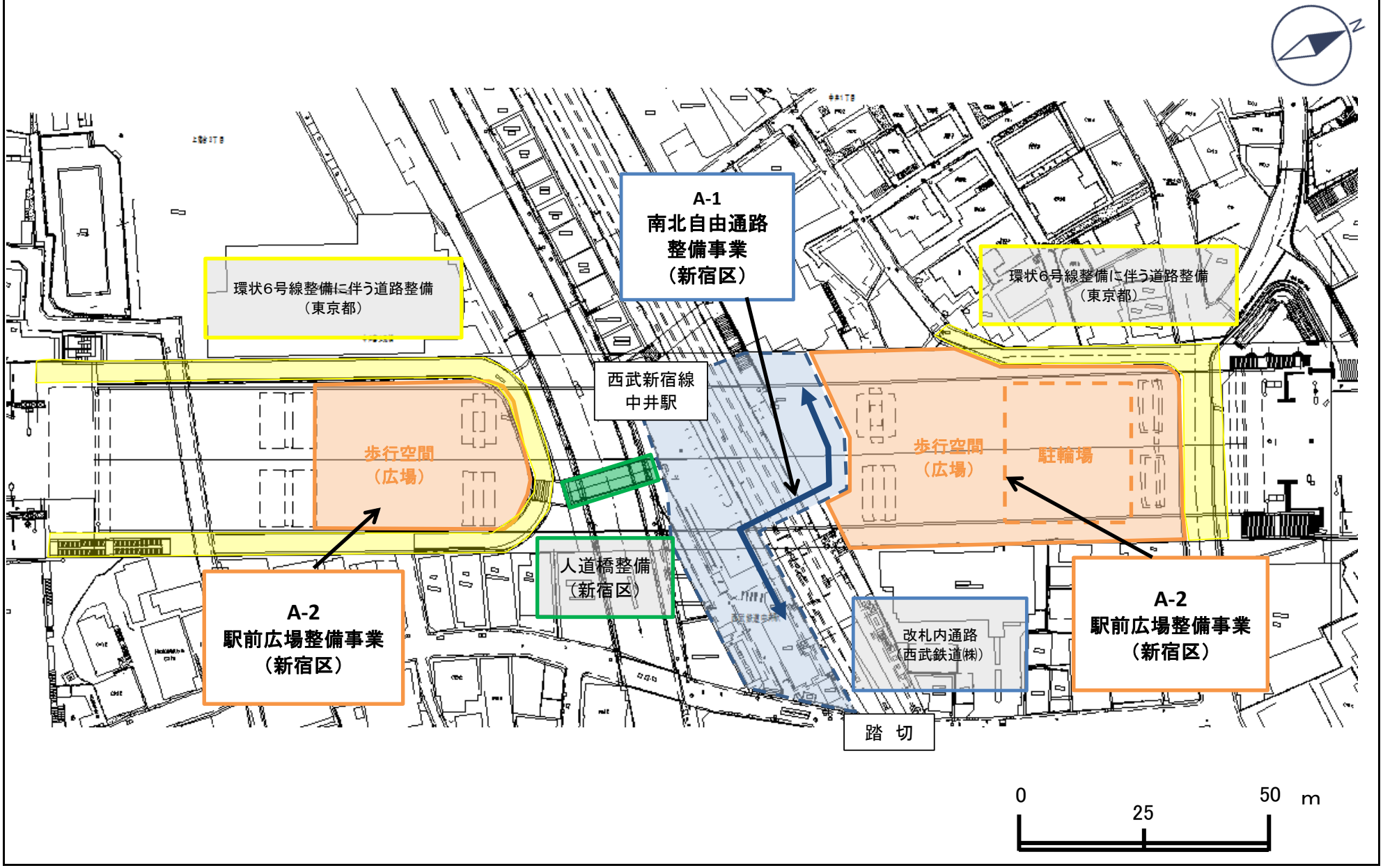
２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・自由通路の整備により、中井駅前踏切（下落合７号踏切）の朝ピーク時における横断歩行者数が減少し、歩行者の安全性が向上した。 （朝ピーク時における踏切横断歩行者数：　１，３３７人〔H24〕　→　５８７人〔H29〕　５６％削減）				
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①（中井駅前踏切の朝ピーク時における横断歩行者数）	最終目標値	（H29） 437 人	目標値と実績値に差が出た要因	・指標を横断歩行者数（実数）としたため、駅利用者の増加等に伴う西武線を南北に横断する歩行者数自体の増加（対H21年比で1.7倍）の影響が反映されず、目標値に達しなかった。 ・指標を、横断歩行者の削減率として再検証すると、目標に達していると見なすことができる。 【目標】　西武線横断者数 1,337人<H21>〔100%〕　→　踏切横断者数 437人<H29>〔32.7%〕 【実績】　西武線横断者数 2,358人<H29>〔100%〕　→　踏切横断者数 587人<H29>〔24.9%〕 ＊「西武線横断者数」＝ 踏切横断者数 ＋ 自由通路横断者数
		最終実績値	（H29） 587 人		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	・朝ピーク時以外においても、自由通路の整備により、中井駅前踏切の横断歩行者数が着実に減少し、歩行者の安全性が向上した。 （全日における踏切横断歩行者数：　１２，０９０人〔H21〕　→　８，０１０人〔H29〕　３３％削減） ・駐輪場の整備等に伴い、放置自転車数が減少し、歩行者の安全性、快適性が向上した。 （放置自転車数：　６３０台/年〔H17〕　→　１９２台/年〔H28〕　６９％削減）				

３．特記事項（今後の方針等）

本事業において新たに整備した南北自由通路、駅前広場等の施設について、適切に維持管理を行うとともに、地域との連携等により有効活用を図っていく。
南北自由通路については、より一層の利用の向上を図るため、効果的な周知方法や案内・誘導等、利用者の増加に向けた方策の検討を進め、交通結節点としての機能向上を図っていく。

（参考様式３）

中井駅周辺整備計画

計画の名称	中井駅周辺整備計画		
計画の期間	平成27年度　～　平成29年度　（3年間）	交付対象	新宿区